

令和4年度 第1回 丸亀市地域包括支援センター運営協議会 会議録			
開会日時	令和4年10月20日 午後6時00分	閉会日時	令和4年10月20日 午後7時18分
開会場所		丸亀市役所 2階 201・202 会議室	
出席委員および事務局員氏名			
曾根良幸 近石恵三 岩本義博 大西健二 藤田秀光 三谷浩二 山下陽子 大木祐治 新池巳恵 尾崎登志美 守田京子 大西洋子 出席 12 名		(事務局) 高齢者支援課長：永森 地域包括支援センター 所長：香川 南部センター所長：田中 介護予防担当長：森山 包括支援担当長：入江 主査：万谷	
傍聴者 なし			
審議事項および審議の概要及び会議のてん末			
1. あいさつ 2. 協議事項 (1) 令和3年度 業務実績・決算状況について (2) 令和4年度 実施事業の状況について (3) その他 ・認知症初期集中支援チーム活動報告について			
会議概要			
事務局	それでは本日の委員の出欠状況を確認いたします。 委員総数 14 名のうち、出席委員 12 名、欠席 2 名で、委員の半数以上の出席を得ておりますので、丸亀市附属機関設置条例、別表の規定により、会議の開催要件を満たしておりますことをご報告いたします。 続きまして、本会の会長及び副会長の選任を行いたいと思います。		
	今期の会長及び副会長を選任 (会長を曾根委員に副会長を三瀬委員に)		
曾根会長	私も慣れないことが多いと思いますので、できるだけ議事進行が速やかになるように、頑張っていきたいと思います。皆さんのご協力をどうかよろしくお願いします。		
事務局	(議事前に議事録公表について説明) では、ただ今から議事に入らせていただきます。		
曾根会長	それでは私の方でこれから進行させていただきますので、委員の皆様方においては、どうかご協力よろしくお願いします。 ご案内のように、式次第に沿って会議を進めて参ります。 まず、協議事項 (1) ということで、令和3年度業務実績、決算状況について、事務局より説明をお願いします。		
事務局	事務局より (1) 令和3年度 業務実績・決算状況について①～③を説明		

曾根会長	報告、ありがとうございました。 令和３年度の決算状況についてということと、令和３年度の事業実施の状況、実際の実施目標指標と、実際行った実施状況について、詳しい報告がありました。ご参加の方で何かご質問があればどうぞお願いします。 実施状況をお聞かせいただいたんですけど、結構たくさん事業を行っていて、さっき言ったようなコロナの環境下で、大変な状況と言えどもそれだからと言って、手を緩めることなくおやりになっているんで、またこれをしっかり継続していただけたらと思います。 何か委員の方々でご質問があれば。《挙手あり》はい、どうぞ近石先生。
近石委員	個別ケア会議、地域ケア会議の個別会議のところなんですけど、８事例で５回ということは、１回のテーマで２事例ぐらいするのか、一度にしたということですか。
事務局	ありがとうございます。 １回の開催で偶数月に開催しておりますが２事例を検討させていただいております。概ねその専門職の方々に来ていただきまして、１事例についてのご検討を賜っている状況です。
近石委員	個別ケア会議、定例でのケア会議ですね。
事務局	そうです。自立支援型というふうに名前をつけておりますので、地域のケアマネ、丸亀市に在住する、概ね介護とが重度の方ではなく、介護予防というところで要支援１，２及び要介護１２３までの方を対象に、どうやったら地域ケア推進という、地域包括ケアの推進で、住み慣れた自宅で生活できるかっていうところで、在宅のサービスを利用できるようにいうことを目標に、専門職の方々から意見を賜ってるような状況です。
曾根会長	他にいかがでしょうか 《なし》
事務局	事務局より（１）令和３年度 業務実績・決算状況について④について説明
曾根会長	はいよくわかりました。 それでは続いての議題に入ります。 協議事項の２は、令和４年、今年度ですけど、実施事業の状況についてという報告。 事務局よりご説明をお願いします。
事務局	事務局より（２）令和４年度 実施事業の状況について説明
曾根会長	ただいまの事務局のご説明についてご意見とかご質問ございませんか。《挙手あり》 はいどうぞ。
新池委員	何点かありますので、教えてください。 高齢者がやはり多くなっているんで、介護事業費が年々上がっている。 これはわかります。私も何年か前からずっと携わってきていますが、もう右肩上がりでずっと減ることはないです。 ただ、その事業の第８期に沿って、実施しているのもわかりますけれども、

	どこで重複して、関連づけてできることはないかなとは思っています。 一つですね、この認知症の施策ですけれども、先ほど基本目標 1 の連携のところで、多職種研修会で認知症の話で先生が来られたっていう、私も聞きましたがとてもわかりやすい内容です。こういうものを、例えば、認知症を介護する家族のための講座、そういうところと結びつけて一緒にやるとか、それと、認知症の家族のための講座、3 回の開催で参加者 39 人、これも多いか少ないかっていうとちょっと私も疑問ですけれども、にじいろカフェにしても、開催 1 回当たり約 10 人っていうところがあります。 この 10 人も、毎回同じ人が来ての延べ 300 人なのか、新規の方も入っての人数なのか、実際にいろんな人が、「来てよかったよ」とか「次も誰々さん行こう」って言って、違う人が利用できるんでしたら、それはすごく有効活用できていると思うんですが、この事業も、ちょっとマンネリ化になってきているので、実際の、ところをもう少し見て、実際やっているところの意見を聞いて、どれぐらい認知症の人が集まって、どれぐらいの相談件数があるかっていうところも、見えてくるような報告をしていただきたいなと思います。 それと同じく、高齢者の移動手段事業。移動手段確保事業ですけれども、これは新しくなって、まだ私もよくわからないんですけれども、どれぐらいの利用っていうのが、あるのかなっていうのと、やはりこれも同じですけれども、利用で、知ってる人が利用できる知らない人は利用してないっていうのが多分、あると思うので、そちらの方の利用促進に向けた活動をしていただきたいなと思っています。 それから、あとですね、医療介護の、連携強化のところで、他職種の連携の、まんでネットの部屋のことですけれども、これもまんでネットが開設してから、ずっと私も携わっていますが、だんだんしりすばみになっています。今年、前年度でも 12 人、新規が今年度は 5 人。 これは、この原因としてはやはり、連携っていう本来の目標、目的で使われてない。例えば、先生がこの患者さんを、まんでネットを使ってと一緒に、私たちがやったことを報告する、電話で報告するまでもなく、記録を見てくださいよっていう、そういう関係ができていけば、もっと広がると思うんですけれども、これが、年間ネットにかかるお金が 100 万円ほどいると思うんですけど、やはり無駄になってきているっていうのが、実際感じているので、こっちの方も、少しどうやったらみんなで盛り上げていけるかっていうのを、やはり市と、医療関係者・介護関係者どちらも、すべての方に関わってくると思うので、そのあたりを市から何か提案していただければと思います。以上です。
事務局	認知症カフェ、認知症の人を介護する家族のための講座の現状について、ご意見、非常にありがとうございました。 本当に痛い所を突かれたというのが正直ありまして、にじいろカフェが 15 か所あるとは言え、それぞれ同じレベルというか、本当に相談したい場所になっているかという、ちょっと辛いところがあるような現状です。 しかし活動を活発にされているカフェさんは本当におられるので、そういったところのカフェのご意見を頂きたいと思っています。

	今年度、シルバー交番員さんを新規で 14 名養成し、また今までシルバー交番員に登録されている方へ今後活動に協力できるか意向調査を行いました。 両方合わせると約 40 名のシルバー交番員さんが今おられますが、その方とにじいろカフェのメンバーに、新しい投げかけをしようとしております。 まだちょっと形にはなってないですけども、にじいろカフェの連絡会やシルバー交番員さんを養成する中で、「認知症の当事者や家族の方が気軽に相談できる場所ってというのが、丸亀市ないよね」とか「認知症カフェはあるけれど、身近な人たちがたくさんいるところで、うちのお父さんの認知症についてぶっちゃけ話をなかなかしづらい」「気軽に立ち寄り相談できる場所が必要だよ」という声を頂いています。 ここ新しい市役所の隣に、お茶を飲みながら気軽に集える場所“マルタス”ができました。ここの場所を使って、そういった認知症の当事者や家族の方が気軽に相談できる場所に、今おっしゃっていただいた医師や歯科医師訪問看護さんが医療的なことであったり、薬剤師さんがお薬の話だったりといった専門職が集まって、いろんな相談ができる場ができたかと考えています。 またシルバー交番員の方も、今認知症カフェのお手伝いをしていますが、実際のところ、多くの方がお茶を出すだけとなっている状況です。勉強して頂いているのにそれを発揮できる場が十分ない状況なので、マルタスで実施するにじいろカフェが、それぞれのメンバーと一緒に勉強できる場所を作りたいと考えています。 今年は認知症に関連した事業を展開させていますので、また次回の協議会の時に報告ができたかと思っております。 ご協力の方よろしく申し上げます。
新池委員	このコロナ禍になって、私は一番地域への出前講座、これがないってところが非常に残念だなと思ってるんです。 この出前講座は本当に先生方が協力してくれて、非常に市民の方たちに好評だったと思うので、そういう縮小版を計画しているのですね。 今後も、していただければ嬉しいと思っていますのでよろしくお願いします。
事務局	続きまして、まんでネットについてご説明します。 今の途中経過のところでは新規 5 人で書かせていただきましたが、前年度はかなり PR に力を入れてきましたので今年度につきましては、ここ 3 日ぐらいでも 4 件ぐらい登録や患者さんの部屋の申し込みが来ています。少しずつですが、研修会等で PR した結果が出てきているのかなと思っています。 今年度も、薬剤師さんとか理学療法士や介護用品を扱っている方とか興味を示していただきまして、そこに登録するにはどのようにしたらいいのかとか、お問い合わせの方もかなり最近増えております。多職種の方々や事業所の方々に今後も活用を進めていきたいと思っております。 新規の方は少ないですが、延べ数で出しています件数のうち実際 1 か月に、30 件ぐらいは稼働しています。少し前でしたら、部屋の参加者は先生と訪問看護の方とかケアマネさんとか、2 人から 3 人ぐらいでしたが、最近の傾

	向としましては、ご家族が入られているところとか、1人の患者さんに関わる多職種の方が一つの部屋に7人から8人ぐらい参加され、多職種が繋がってきているのを実感しています。部屋の数もちろん大事ですけど、多職種が関わってきたっていうことは、一つ効果ではないかなと感じてます。また今後も機会あるごとにPRの方は続けていきたいと思っております。以上です。
新池委員	ありがとうございます。 多職種がっていうことを聞いてとてもすごく嬉しいです。ですが、ネットの開設に開設者の制限がケアマネージャーさんと先生ってところの制限があると思うんです。 これをもう少し広げていく方向に考えていただければと思います。
事務局	続きまして、移動手段確保事業について、少し説明させていただきます。 今現在、昨年の10月から本格実施ということで、移動手段確保事業は7か所を実施しております。 モデル事業は4か所、それに3か所加わりまして、今現在7か所が実施しております。 それで、各コミュニティの方に、まず地域課題をしっかりと出してもらい、その地域課題の中で移動手段に困っているという地域を、ピックアップし、お声掛けをさせてもらい、要望のあるコミュニティでこの事業が実施されています。 そして運転手の方は、全く無償のボランティアでしておりますので、なかなかボランティアの確保が難しいところです。利用者に関しましては皆さん困っているの、声をかけたら、たくさんの方が希望されてきております。 各コミュニティ7か所の方がいろいろ工夫をして、チラシを作成してコミュニティ誌に掲載し募集をしたところ各コミュニティ5～60人は、利用者の希望があり登録されています。現在も少しずつ登録者は増えています。 しかし実際使う方は20名程度の方が使っているところがほとんどです。残りの方は登録をすることで、安心を得ていると言われる方もおります。中には将来のことを考えて、もし自分が運転できなくなった場合っていうところで、登録されている方もおります。 今日も飯山北コミュニティので、移動手段の話し合いの会がありましたが、利用者は、少しずつ増えています。移動範囲も概ね5キロ圏内の中で、1回、1か所行ったら1件と数えて、9月は約100件、利用されています。 実施については週2回程度で行っておりますので、1日が大体8～10人、8～10人の方を送迎すると20回ぐらい行き来をするので1日中走り回っていると運転手さんが話されていました。 しかし今日の話し合いの中で意見がありましたが今までできていたことが明らかにできなくなっている人がいる。お金の支払いが、1回100円ですが5000円札を出してくる。ガソリン代は1回100円程度ですがそのお金が準備できなくなっているっていう話がありました。今まではきちんと用意できていたのに…。ボランティアの人が言っていました。 その話を聞いた時に、この人はもしかしたら認知症になりかけているのか

	もしないと思われる人は、地域包括支援センターが訪問し、早期に対応できる。認知症の早期発見のためにも定期的に意見交換の話し合いを持っていくことを、コミュニティにはお願いしています。 その話し合いの中で課題を見つけて、対応を考えていくというのも一つはあります。 今まで運転ボランティアはほぼ男性の方でしたが、男性が地域でボランティアをする機会は少ない。 今回のこのような取り組みは、自分たちが協力できるということで男性が地域に入っていくやすい事業の一つとなります。利用者からも感謝され、いきがいくりのひとつになっています。 今後の課題として、一番の課題がその運転手の後継者問題です。運転手も、高齢化しております。なかなか若い人の担い手が少ない状況です。 垂水コミュニティが、新しいアイディアを出しチラシを出してくれました。週2回、実施する場合1年間数えたら大体100回程度運行日があります。「100回のうちの1回ボランティアをしてみませんか」というふうに工夫をして、チラシを出してくれました。そうした声かけにより、40代50代の方が、将来、自分もそこを通る道なのだからと、「年に1回ぐらいなら、お手伝いできます」と登録してくれ実際は月に1回協力してくれています。 また利用者は自分の目で見て買い物にいきたいと利用しています。今まででは介護保険を利用してヘルパーに買い物を頼んでいましたが、このサービスを使うことで、ヘルパーに買い物を頼む機会が減ったそうです。このサービスを利用することで介護保険の軽減を目指したいと考えております。
新池委員	ありがとうございます。 この事業が、今の時代に即した一番発展している事業じゃないかと今思いました。 私の母も高齢になって、近所には、やはりこれを利用している方もいらっしゃるの、まだまだ利用が上がってくると思うんです。 その際に、やはり運転手さんがボランティアだけっていうのはちょっと厳しいので、できればこちらに少しでも、予算が回ればなと思います。 以上です。
曾根会長	他に何かご意見或いは活動状況について、今のネットとか高齢者の移動手段確保事業、にじいろカフェ、多職種研修会、本当に実際に、いろいろ工夫されているのがよくわかったんですけど、何か委員の方々と、この点はどうかというのが、もしあれば、どうぞお願いします。 なければ次の協議事項の3に移ろうと思います。 協議事項の3、認知症初期集中支援チーム活動報告について、事務局より説明をお願いします。
事務局	事務局より（3）その他 知症初期集中支援チーム活動報告について説明
曾根会長	他に委員の皆さんから何かご意見或いは何かありますか。

大木委員	協議事項の 1 の④の評価結果についてなんですが、ご説明あったんですけども、これは、どなたが評価され、どの規模で評価がされてるのか。
事務局	事業評価は、国から決められた評価指標があり、細かく留意点があります。国の方から調査票が送られてきますので、私が評価指標に基づき調査票に答え、県を通じ国に提出して評価を得ております。
大木委員	評価は、どこが行っているのですか。
事務局	この評価は、指標の内容ができているかどうかを丸亀市の方が調査票に答えて、県・国の方に送って、国の方から、調査結果の配点が送られてきてまして、こういうレーダーチャートという表に点数を載せて、国の方が全国の市町村を点数化し評価してます。
大木委員	ということは、役所の方で評価してるんですね。
事務局	自己申告制ではありますが、資料を提出してという形になります。
大木委員	なんか、先ほどのご説明だと、令和元年度の時には、全国を下回る項目が 2、3 あったけれども、3 年度ですね、すべての項目が全国上回ってるということで、皆さんの努力ということがおありなんだろうと思うんですけども、何か評価というのが、どの程度の適正さを持ってやられてるのかっていうのが、ちょっと私の方、疑問に感じた部分があったので、会議で皆さんがご意見出し合って、これは OK ですねとかそういう形なのか、担当者のみがやってるのかということをお聞きしたいです。
事務局	担当者や課として評価は行っていますが、このセンター指標の項目も、ここには載せていない、詳細留意点等が沢山ありまして、実施しているかしていないかでチェックをつけていくので、しているものは提出資料も必要なものもあり、相談事業とかの件数も毎月、月報という形で県の方に提出していますので、その相談件数とかからも評価されたり、先ほどの地域ケア会議の回数や事例件数なども全て評価の基準になっておりますので、曖昧に判断しているものではありません。包括支援センターの事業評価を通じた機能強化に使うものなので、実施しているか、できていないかということで、できてない項目を次年度の計画に上げます。モニタリングの項目でしたら、モニタリングが今までなかったところ、1 回地域ケア会議を増やして開催したということで、開催要領とか、実施状況等資料がそろって初めて実施したことになります。できていない項目を 1 個ずつ、地道に、計画に乗せて、次年度取り組んで、今、やっと綺麗な形のグラフになったという感じです。 これで今後、実施しないものがあると、またここからいびつな形のグラフになりますので、これからも現状維持できるように、取り組んでいきたいと思っています。
大木委員	この、資料の 6 が割と、客観的に判断できる、そういうものであるということがわかりました。ありがとうございました。

曾根会長	それでは、なければその他について事務局から何かありますか。
事務局	時間の会議予定ですが、次は令和5年の3月末を予定しています。一応、4年度の終わりということで3月の28日火曜日の19時から行いたいと思っておりますが、すでにこの日にちがご都合が悪いという方はいらっしゃるでしょうか。 まだ先すぎてわからないかもしれませんが、今、一応案としましては28日火曜日、19時からこの場所で行いたいと思っております。 また決まりましたら、連絡させていただきたいと思います。
曾根会長	他に何かございますか。《なし》 それでは以上で本日予定しておりました議題は終了いたしましたので、議長の任を解かせていただきます。 委員の皆様、どうもご協力どうもありがとうございました。
事務局	以上をもちまして令和4年度第1回包括支援センター運営協議会を閉会いたします。 委員の皆様、長時間ありがとうございました。